学校番号	1016

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	コミュニケーション技術	単位数	２単位	年次	２年次 ３年次
使用教科書	「コミュニケーション技術」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、コミュニケーションの意義や目的、方法について、座学だけではなくグループワークを通して学んでいきます。実習も多く、アウトプットしながら知識の定着を目指します。
・また、援助を必要とする高齢者や障がい者の身体的・心理的特徴について理解を深め、車椅子やアイマスクを使っての実習、高齢者施設でのレクリエーションの企画や運営も行います。さまざまな人たちとの関わりの中で、自分に気づき、コミュニケーション能力を磨いてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コミュニケーションに関する基本的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
高齢者や障がいのある人に関する基本的な知識、関わり方を習得し、対人援助活動の中で実践する能力と態度を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
医療職などの多職種と連携しながら，チーム医療として介護サービス利用者や家族の心身の状況や環境を考えた支援ができる能力と態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・高齢者や障がい者に関する対人援助の基礎的・基本的な技術を身につけ、対人援助場面において適切に実践することができる。 ・高齢者や障がい者に関する対人援助の基礎的・基本的な技術を身につけ、対人援助場面において適切に実践することができる。	コミュニケーションについての対人援助活動の展開の中での諸問題の解決を目指して思考を深め、チームの一員として適切に判断し、表現する能力を身につけている。	コミュニケーションについて関心をもち、コミュニケーションに関する知識と技術の習得に意欲的に取り組むとともに、対人援助場面において活用できる実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	介護のおけるコミュニケーション	コミュニケーションの意義と役割 ・人間の理解と人間関係 ・コミュニケーションとは コミュニケーションの基本技術 ・言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション ・受容と共感 ・対人関係におけるコミュニケーションの実際 ・援助の技法とコミュニケーション	a: ・人間関係とコミュニケーションに関する基礎的な知識を身に付け、コミュニケーションの持つ意義や役割を理解している。 ・言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基礎的な知識と技法を身に付け、コミュニケーションの基礎について理解している。 b: ・人間関係の形成、コミュニケーションの基礎について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 ・言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基本技術をとおして意義や役割について思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。 c: ・コミュニケーションについて感心をもち、人間関係の形成、コミュニケーションの基礎について探求しようとしている。 ・言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションなど基本技術の意義や役割について感心を持ち、コミュニケーションの基礎について探求しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

2	サービス利用者や家族とのコミュニケーション	サービス利用者に応じたコミュニケショーン ・高齢者とのコミュニケーション ・視覚障がいのある人とのコミュニケーション ・聴覚障がいのある人とのコミュニケーション ・言語障がいのある人とのコミュニケーション ・運動機能障がいのある人とのコミュニケーション ・認知症の人とのコミュニケーション	a: サービス利用者・家族とのコミュニケーションに関する基礎的・基本的知識と技術を身に付け、コミュニケーションの工夫について理解している。 ・障がいがもたらすコミュニケーションの諸課題を理解し、支援の技法について理解している。 高齢者や障がい者に関する身体的・心理的特徴ついて正しく理解し、知識を身につけている。 b: サービス利用者・家族とのコミュニケーションの様々な課題の解決を目指し、その技術や知識を適切に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 ・障がいがもたらすコミュニケーションの諸課題を踏まえ、支援の技法について適切に判断し表現している。 c:サービス利用者・家族に関するコミュニケーションの様々な課題に関心を持ち、コミュニケーションの工夫について探求しようとしている。 ・障がいがもたらすコミュニケーションの諸課題について関心を持ち、コミュニケーションの手立てを探求しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

3	介護におけるチームコミュニケーション	記録 ・記録の意義と目的 チームによる連携 ・チームのコミュニケーション スーパービジョンの技法 ・スーパービジョンとは ・スーパービジョンの方法	a: 介護における記録について理解し、情報を共有化し会議を運営することで、チームにおけるコミュニケーションが深まることを理解している。 ・スーパービジョンの意義と役割について理解している。 b: ・介護におけるチームのコミュニケーションに必要な記録の方法を理解し、情報の共有化・会議の方法について考察している。 ・スーパービジョンの必要性を理解し、その方法について考察している。 c:介護におけるチームのコミュニケーションについて関心を持ち、記録の重要性、情報の共有化・会議の方法について探求しようとしている。 ・スーパービジョンいついて関心を持ち、探求しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 発表 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度